

専修学校教育重点支援プラン

20年度要求額
520百万円（拡充）

社会的要請の高い重点的な課題に対応できる教育方法等の開発（研究指定校）が必要

教育力向上の推進

- 教員のマネジメント力養成プログラムや効果的な評価・情報提供手法等の開発

(例)

・企業の人材ニーズの高度化に対応し具体的な事例を組み合わせたケーススタディ型の研修プログラムの開発

基礎力向上の推進

- 社会人基礎力養成プログラム、基礎学力向上プログラム、キャリア指導プログラム等の開発

(例)

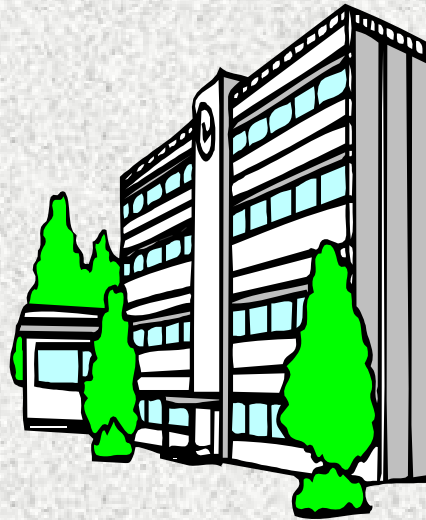
・企業内における課題の解決を目指した授業にキャリアカウンセリングを組み合わせた社会人基礎力等を育成するプログラムの開発

産学連携教育の推進

- 日本版デュアルシステムや実践型人材養成システム等を活用した教育プログラムの開発

(例)

・地元アパレル業界と連携した繊維加工・デザイン等の系統的なスキルを有する人材育成プログラムの開発



専修学校



専門課程の高度化開発

- 個性のある優秀な職業人を育成するための教育方法の開発
- 高度専門士の課程となる4年制課程のプログラムの開発

(例)

・一流の美容師、料理人や組込み技術者等を育成するプログラムの開発

高等課程の個性化推進

- 生徒の個性に着目した有為な人材育成プログラムの開発

(例)

・体験活動、ボランティア活動などを通じた豊かな感性をもつ職業人育成プログラムの開発

新教育領域の開発

- 従来の専門領域の複合化、専修学校特有の教育領域の新たな開拓等

(例)

・メイクアップアーティストやアニメーションデザイナーなどの育成プログラムの開発

新教育方法の開発

- マルチメディアを高度に活用した授業方法の開発

(例)

・e-ラーニングを活用した遠隔教育での職業技術・技能の指導方法の開発